

参考資料 2

令和5年度市政改革プラン二次評価でいただいた質問と回答 抜粋

回答依頼先	管理番号	計画名	質問（赤字部分、括弧内は委員名）	回答
2 協働推進課	111020	ボランティアマッチングの推進	<p>●個人にどのように周知しましたか？企業・団体へのアプローチ方法は？（河崎）</p> <p>●どんなマッチングシステムを導入されていますか？（大西）</p>	<p>●ボランティア入門講座・HP掲載・広報（市報・広報紙・チラシ他）を活用し、周知を行っています。（紙面による広報については、さざんか会館ロビーだけでなく、各地区公民館をはじめとする公共施設に配布）ボランティア登録者に於いては、LINE、メール、郵送等で案内をしています。また、当センターのボランティア紹介は入門講座を受講し、登録することが原則ですが、登録者以外でも気軽に参加ができる、「いっしょにボランティアしませんか？」を定期的の実施し、裾野を広げる取り組みを行っています。</p> <p>企業・団体へのアプローチについては、毎年ボランティアニーズ調査（受入調査）を実施しています。調査に基づいてマッチングを行っています。福祉施設や公共施設が中心となり、一般企業へのアプローチが課題となっています。</p> <p>企業・団体の職員や社員向けのアプローチについても同様の課題となっていますが、要請があれば入門講座に出向くことも可能であり、まずは関係性の構築が必要と考えています。（先日の台風7号により設置された、市災害ボランティアセンターには一般企業からもたくさんの参加がありました。この縁を今後、有効活用したいとは考えています。）</p> <p>●原則、ボランティアをしたい方とボランティアが必要な方を対面で繋ぐこととしています。また、ボランティアをしたい方については、入門講座を受講し、最低限のマナー等の学習、社会奉仕活動等補償制度への加入、ボランティアセンターへの登録をした上でのマッチングとしています。入門講座はお互い（したい方と必要な方）が安心して、スムーズなマッチングとボランティアができるようにするための事前準備として、平成7年から当センターで実施しており、月2回定期開催しています。</p>
12 協働推進課	122020	NPO・企業からの協働事業提案制度の推進	<p>●7件の提案内容と、検討状況は？（河崎）</p> <p>●質問⇒提案のあった7件はどのようなものであったのか。（川口有）</p>	<p>●提案内容、検討状況は次のとおりです。</p> <p>①ソーシャル・インパクト・ボンド（行政が民間資金・ノウハウを活用して行う成果連動型事業）の活用：現状での事業化は困難と判断（本制度を活用する他自治体の導入結果を注視する）</p> <p>②おむつサブスクの導入：現状での事業化は困難と判断（担当課で本市のおむつのサブスクの取扱方針を検討する）</p> <p>③アクティブシニア向けの講座提供：地区公民館にて講座を実施（10月以降実施予定あり）</p> <p>④こども環境絵画展示の実施：担当課で事業化に向けて調整中</p> <p>⑤落語会の開催：担当課へ引継ぎ、活動支援につながる情報を提供</p> <p>⑥ミュージック・ケア（音楽を媒体にした活動）の講座提供：地区公民館にて講座を実施（10月以降実施予定あり）</p> <p>⑦複業人材の自治体登用：現状での事業化は困難と判断（今後本市の課題抽出状況に応じて検討）</p>
36 情報政策課	223020	モバイルワークの推進	<p>●モバイルPC以外に私用PCでの業務では情報漏洩につながるようなことはないのでしょうか（大西）</p>	<p>●モバイルPCおよび私用PCを利用したモバイルワークでは、利用するPCから、自身の職場PCへリモート接続し、遠隔操作する仕組みのため、利用するPC側にデータ保存は不可となります。そのため利用するPCからの情報漏洩の可能性はありません。</p>
40 収納推進課	311010	債権の収納率向上	<p>●スマホを所持している高齢者に対し、職員さんがキャッシュレス決済の利用支援をするようなことがあるでしょうか（大塚）</p>	<p>●基本的にそのようなサービスは行っておりません。利用方法がわからず窓口に来庁される方や電話での問い合わせには、都度丁寧な対応を心がけています。（チラシでの説明や詳しいサイトの案内など）</p>

回答依頼先	管理番号	計画名	質問（赤字部分、括弧内は委員名）	回答
41 収納推進課	311020	キャッシュレス決済の導入	<ul style="list-style-type: none"> ●今のアプリを選んだ理由と、R5年度に拡充する予定のアプリは？（河崎） ●滞納者は、R4.9月末時点で約35%が65歳以上と昨年度回答がありましたが、65歳以上の納期内納付率はあがっていますか。（岸） ●計画と実績の「効果額」がないのは、数字にするのが難しいということでしょうか（大塚） 	<p>●バーコードを読み取るスマホアプリは、コンビニ等も併せての収納代行会社である地銀ネットワーク㈱が契約しているアプリから、本市（出納室）が利用者の多いと見込まれるアプリを選定しています。令和2年度からのLINEPay、PayPay、支払秘書に加え、令和5年度から、auPAY、d払い、J-Coinが追加されました。</p> <p>また、令和5年度から導入となったQRコードを読み取るアプリについては、共通納税システムを運用している地方税共同機構が契約しているアプリが全国で利用可能となっています（R5.10月現在23アプリ。順次追加予定）。</p> <p>●納期内納付率は集計していませんが、R5.9月末時点での法人及び年齢不詳者を除く滞納者の内、65歳以上の高齢者は33%となっています（市税及び国民健康保険料のみ）。前年同時期とは△2%の差がありますが、社会経済情勢でも変化するため、キャッシュレス決済導入だけの影響とは判断できません。</p> <p>●導入の主目的は支払チャンネルの増による納付利便性向上であります。また、新規の滞納発生を防ぐ効果も期待されます。キャッシュレス決済の利用率の算出は行っておりませんが、効果額に繋がるものではないと考えております。（未収金の圧縮に向けては、様々な取り組みを行っており、キャッシュレス決済の導入もその一環ですので、未収金の減少となっている一つの施策（要因）であると考えております。）</p>
72 市立病院	324050	公営企業の経営健全化（市立病院）	<ul style="list-style-type: none"> ●長期的な赤字の原因は何か。人口減少下で、患者増を図るというのは正しいのか。東部には大型病院も多く、地域のニーズを改めて確認する必要があるのではないか。（山下） 	<p>●国の方針で、当院のような急性期病院は診療所（かかりつけ医）の紹介状を持つ重症患者の入院加療に重点を置くことが求められていますが、思うように紹介患者を増やせていないことが、赤字の要因となっています。</p> <p>また、人口減少下ではありますが、団塊の世代が後期高齢者となることで、今後2040年頃までは東部医療圏の患者は減少しない見込みですので、高齢患者の受診割合が高い総合診療科、整形外科、眼科、泌尿器科等については、今後も患者増を目指すものと考えています。</p>